

子どもを真ん中に、
共に学び、共に成長できる
PTA活動を推進しよう

～ 家庭・学校・地域との連携・協働をとおして ～

令和7年5月31日(土)宮崎観光ホテルにおいて、県内各地区の代表が出席し、宮崎県PTA連合会定期総会が開催されました。

令和6年度の事業報告・決算報告並びに監査報告、令和7年度基本方針案や事業計画案、予算案を協議し、すべての議案が承認されました。また、令和8年度に宮崎県で開催される「第71回日本PTA九州ブロック研究大会宮崎大会」の開催概要についても説明がありました。

役員改選では、二見志信新会長をはじめ12名の役員・理事等が承認され、新しいメンバーで令和7年度のスタートを切りました。森山前会長からバトンを受けた二見会長は「基本方針と6項目の活動目標を今年度も継続し、家庭・学校・地域の一体となって時代の変化に即応した活動を組織的に推進するとともに、あらゆる教育の課題に対して手を携えあつて乗り越えていきたい」と述べました。



基本方針

宮崎県PTA連合会は、保護者と教職員が一体となつて不偏不党、中立公正を旨とする社会教育関係団体として、すべての子どもたちが安心して家庭で、学校で、地域で生活することができる環境づくりに努めることを目的とする。

市郡PTA(連絡)協議会(単位PTA)との連携を図るとともに、行政や関係諸団体と協議・研究を行い、子どもたちの健全育成とPTA会員の資質の向上及び本県教育の振興を図りたい。

また、会員一人一人がPTAの一員であるという当事者意識をもち、会員相互の信頼と協力のもと、家庭・学校・地域が一体となって、時代の変化に即応した活動を組織的に推進するとともに、あらゆる教育の課題に対して手を携えあって乗り越えていきたい。

さらに、PTAの任意加入等に係る問題に関しては、様々な情報を基に、県PTA連合会役員会・理事会やリーダー研修会等において研修や協議を深めていきたい。

令和7年度 活動目標

- ① 家庭教育の推進
- ② 心の教育の推進
- ③ 子どもの健全育成活動の推進
- ④ 研修活動の推進
- ⑤ 家庭・学校及び地域社会等との連携・協力の推進
- ⑥ 広報活動の推進

令和7年度 理事・監査委員

理 事		教職員代表理事	
谷口 佑介	〈串間市〉	杉山 智子	〈小学校〉
山下 博之	〈えびの市〉	川越 章三	〈中学校〉
大田 美華	〈小林市〉		
長井のぞみ	〈北諸県郡〉		
元明 吉文	〈西諸県郡〉		
川崎 大輔	〈東諸県郡〉	山本 裕也	〈東諸県郡〉
齋藤 幸紀	〈西都市〉	阿萬 一皓	〈西都市〉
長尾 広則	〈児湯郡〉	木原 一	〈北諸県郡〉
甲斐 宣人	〈東臼杵郡〉		
橋本 寿	〈西臼杵郡〉		

令和7年度 感謝状贈呈者

森山 慎作	〈県P会長・宮崎市〉	山本 裕也	〈県P理事・東諸県郡〉
竹原 英智	〈県P副会長・串間市〉	阿萬 一皓	〈県P理事・西都市〉
黒木 剣二郎	〈県P副会長・宮崎市〉	三輪 隆之	〈県P理事・児湯郡〉
友碓 将徳	〈県P副会長・延岡市〉	本田 貴規	〈県P理事・東臼杵郡〉
大門 哲也	〈県P理事・えびの市〉	佐藤 尊文	〈県P理事・西臼杵郡〉
吉藤 勇生	〈県P理事・小林市〉	岩切 靖代	〈教職員代表理事・小学校〉
木原 一	〈県P理事・北諸県郡〉	原田 昭彦	〈教職員代表理事・中学校〉
川平 典生	〈県P理事・西諸県郡〉		

令和7年度

宮崎県PTA連合会役員紹介



会長

二見 志信

(宮崎市PTA協議会)

この度、宮崎県PTA連合会会長を拝命しました。会員の皆様には日頃より宮崎県PTA連合会へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

PTAは保護者と教職員が共に子どもたちのために活動する社会教育関係団体です。時代の変化に即応した活動を組織的に推進するために、誰の何のための活動なのか改めて存在意義を考えると必要性を問われています。

子どもの成長発達は今も昔も変わりませんが、子どもを取り巻く環境は大きく変わりました。本来、家庭教育でしつけや愛着形成等、人としての土台ができますが、家庭だけで子どもを育てるのは難しい状況です。だからこそ、PTA活動の中で知り合いを増やして自分を支えてくれるコミュニティを作ることが大切だと思います。

すべての子どもたちが安心して家庭・学校・地域で健やかに育つ環境をつくれるよう、保護者と教職員、保護者同士が対話を重ねて信頼関係を築き、学び合い、お互いさまの気持ちをもって無理なく活動できるような自身もアップデイトしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



副会長

吉永 健一

(都城市PTA連絡協議会)

PTA活動は人間力を実践し育てる場と感じています。互いに支え合い学び合うことで子どもたちにとってもより良い環境をつくっていかれると信じています。

今年度は、第67回宮崎県PTA研究大会都城市・三股町大会が都城市で開催されます。たくさんの方々に参加していただき、思い思いの大会にしたいと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。



副会長

葛西 了一

(日向市PTA協議会)

PTA活動を通じて生まれるつながりを大切に、家庭・学校・地域が支え合う関係を築くことを目指します。

交流を重ねることで互いの理解を深め、充実した取り組みを実現していきたいと思っています。

PTA活動を通じて生まれるつながりを大切に、家庭・学校・地域が支え合う関係を築くことを目指します。



副会長

持原 将之

(宮崎市PTA協議会)

PTAを通して子どもたちが笑顔になれるよう、保護者や地域の皆様とつながり、自分自身も楽しんでいける活動をしたと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



副会長

甲斐 実沙希

(宮崎市PTA協議会)

宮崎県の子どもの笑顔のために、皆さんと力を合わせ、誰もが参加しやすいPTA活動や環境づくりを微力ながら支えていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

宮崎県の子どもの笑顔のために、皆さんと力を合わせ、誰もが参加しやすいPTA活動や環境づくりを微力ながら支えていきます。



副会長

井上 英彦

(日南市PTA協議会)

子どもたちが学校に行くのが楽しいと思えるように、保護者や先生と協力し合い、穏やかに学べる学校を目指したいです。私自身もPTA活動を通して学び、多くの方との出逢いを大切にしながら、子どもたちと共に成長していきたいです。



副会長

小野 寿雄

(延岡市PTA連絡協議会)

子どもたちが安心して健やかに育っているよう、さまざまな声に耳を傾け、思いやりをもって取り組んでまいります。

子どもたちが安心して健やかに育っているよう、さまざまな声に耳を傾け、思いやりをもって取り組んでまいります。

子どもたちが安心して健やかに育っているよう、さまざまな声に耳を傾け、思いやりをもって取り組んでまいります。



ネットモラル・教育の推進 メディアリテラシー

児童生徒のソーシャルメディアの利用は「保護者責任」と考えます。

その利用に際し、宮崎県PTA連合会としての基本的な考えを示し、学校や関係機関と連携してネットモラル・メディアリテラシー教育を推進します。

(児童生徒)

● インターネットは世界中の人が見えています。

● 自分はもちろん、友達や知人の個人情報に関する書き込みはやめましょう。

● 家族の名誉や人を傷つける行為は絶対にしてはいけません。

● 利用しない、見ない、気にしないことも勇気だと知りましょう。

● トラブルに巻き込まれたら、先生や保護者に相談しましょう。

(保護者)

● 情報教育に関する保護者勉強会に参加しましょう。

● インターネット接続機器における保護者の責任を認識しましょう。

● 困ったときは、みんなで話し合いましょう。

● 家庭内のルールを決めましょう。

● 私たちが考える本場のコミュニケーションは、FACE to FACEです。



宮崎県PTA連合会は

ケータイ・スマホ 夜9時
電源OFF運動

を推進しています。

子どもを守るネットモラル5か条

- ① 学校や家庭でのルールを守ろう
- ② メールやライン等で人の悪口や傷つくことは書かないようにしましょう
- ③ 人の住所や電話番号等の個人情報は書かないようにしましょう
- ④ ケータイ・スマホは、夜9時になったら電源を切ろう
- ⑤ 何かトラブルがあったらすぐに相談しよう

前会長 森山 慎作

新旧会長対談

新会長 二見 志信



県PTAの新体制がスタート。新旧会長にPTAに対する思いや考えなどをお聞きました。

「子育て10か条」について活用法や思いをお聞かせください

森山 令和5年度に県内の子どもたちからイラストを募って刷新しましたので、10か条と言っても教訓のような堅いイメージではなく、親しみをもって活用していただきたいですね。

二見 家庭教育を誰が伝えていくのが課題かなと感じています。保護者自身が受けてきた家庭教育がモデルケースになります。だからこそこれいいのかという葛藤や悩みが保護者の中に生まれるわけです。また、多様性を認め個性を尊重するあまりに保護者が孤立してしまう中で、子育ての基本に戻るためのものや参考にするものとしてはいいのかなと思います。

森山 10か条の中で私はシンプルな第2条の「早寝・早起き・朝ごはん」に共感します。勉強も大事ですが、その勉強も睡眠をしっかり取らなければ無駄になるかもしれない。規則正しい生活で健康な心と体をつくることはすべてにつながっていきますし、子育ての第一歩だと感じます。

二見 メディア安全指導員の私としては第9条ですね。親が見本となり、その親とルールも一緒に作ることは大事ですね。見守り活動もしているので第1条のあいさつにも強く共感しています。あいさつの声掛けで信頼が生まれることも多いですね。

今年度から活用されるという「PTAハンドブック」についてはいかがでしょうか？

森山 コロナ禍での活動の自粛や縮小が数年続いてしまい、PTAでいざ動くと思った時にどう動いていいかわからないことが多くなっていました。あらためて活動の主旨を理解するため活用してもらえたいと思います。会長等の役員さん向けに作ったものです。

二見 PTAは義務ではないし、成人教育の場でもあり、保護者同士がつながっている場でもあります。コロナ禍で関係性が希薄になり自分の周りが知らない人ばかりだと不安や恐怖を感じます。そんな今こそ人とつながり、学びや交流でつくられる信頼関係が大事なことです。日常のちょっとした困りごととは保護者同士のつながりがあれば解決できることも多いです。そういった思いもハンドブックには込められています。縛るためのものではなく活用してもらえると嬉しいですね。



宮崎県PTA連合会のHPから閲覧、ダウンロードができます。

コラム 三輪車

地域と共に未来を担う
『かつつん子』を育む

えびの市立加久藤小学校
教頭 三ヶ尻和弘



『かつつん子』
加久藤の子に期待や親しみを込めた愛称です。地域と『かつつん子』を繋ぐもの。それが加久藤で盛んな交流活動です。コロナ禍で中止していた交流活動を復活させたい思いはあれど、なかなかきっかけがありませんでした。そんな時、加久藤まちづくり協議会から「子どもたちに豊かな体験活動をさせたい」との申し出があり、これが復活のきっかけになりました。

協議会との「駒打ち体験」（4年生）では、クヌギや種駒を準備していただき、駒打ちを約一時間半しました。協議会の方々から「子どもたちが楽しく活動し、元気をもらった」と感想をいただきました。

また、夏季休業中に校区内の湧水公園で「魚釣り&つかみ取り大会」（全学年）をしました。協議会の協力の下、校区内の豊かな自然の中で、親子でふれあいがら楽しく活動する姿は、大変微笑ましいものでした。

加久藤まちづくり協議会との交流活動を皮切りにそれ以降、他の関係機関とも徐々に交流活動ができています。これからも、地域と共に未来を担う『かつつん子』を育んでいければよいと思います。

最近ではPTAが敬遠されている報道も目にしますが、私たちはどう捉えればよいのでしょうか？

二見 例えばベルマークを切りながら「最近どんげよ！」なんてお互いの愚痴を言いながらの近況報告がストレス発散になったりしますよね。すっきりして楽しかったと思うことができれば明日への活力にもなります。PTAってそんな「つながりの場」なんです。

森山 男性目線ですと活動の成果を求めがちで、そのための役割を効率よくこなすことを考えてしまします。そんな中でもやはりお父さん同士のつながりは楽しいです。信頼も築けますよね。「あんたがやるなら俺もやるわ」という場面が多くあつて保護者同士がお互いにいろんな役を引き受けやすくなりますよね。

二見 PTAとご家庭がささやかでもどこかでつながっていたいです。わざわざ保護者同士でつながってほしいし、それはいつか何かがあった時に手助けをするきっかけになるかもしれないと思うんです。

——そういう考え方は各学校のPTA会長からトップダウンで伝わるといいのでしょうか？

二見 各学校の会長はトップではないうです。森山前会長が県PTAのリーダー研修会で皆さんにお伝えした「逆ピラミッド・逆三角形」の形、ここにあると思っています。会員の皆さんが主軸であつて、こちら（会長等の役職）は会員の皆さんから聞こえてくるご意見

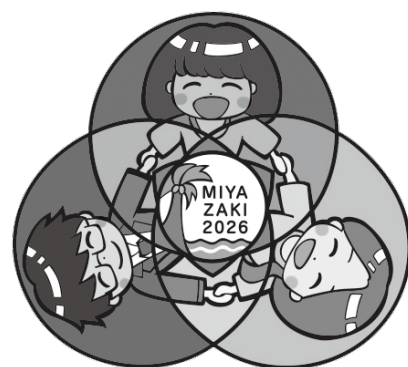
見をどう活用させるか、個（会員）では成しえないことをいかに団体（PTA）として県に、国に訴えていくか、その連携のために我々は存在すると考えています。個人で伝えきれない場面でこそ代弁できるのがPTAなんです。

——PTAは保護者の味方なんですね
令和8年に開催される第71回日本PTA九州ブロック研究大会宮崎大会（以下、宮崎大会）について一言お願いします

森山 来年の宮崎大会に向けて、ただ今絶賛準備中です。参加した方全員において意味のある大会にしたいです。宮崎ならではの点では「人と人とのつながりがテーマになるかと思っています」。

二見 PTAは会員の皆さんが主体です。そんな会員の皆さんが所属する学校のPTAを活動しやすくするのが市町村PTAであつて、その市町村PTAが良い教育や環境を一律に共有していくのが県PTAなのだと思います。PTAは、学校と子どもたちや家庭との橋渡しなんです。子どもを取り巻く環境である我々大人が動くべきです。保護者同士も勉強したり意見交換したりした方がいい。そのためにはPTAは活用できると思います。人と人、場と場をつなぐ、それがPTAです。そこも宮崎大会では伝えていきたいです。

森山 それぞれの学校のPTAというのは独立した組織です。それが市町村等の枠でつながっていて支えあっています。そこをご認識いただいてぜひ宮崎大会にも足を運んでいただけたらと思います。



第71回日本PTA九州ブロック研究大会
宮崎大会ロゴマーク

——「人とのつながりを作る場所がPTAであり、そこを通して人生の豊かさにつなげてもらいたい」と声をそろえて語る新旧会長のお二人。思いは一つです。
やわらかくて楽しい未来が広がっていくPTAのビジョンが見える対談でした。

第73回日本PTA全国研究大会

ISHI-KAWA
PTA 2025

石川大会

1日目（分科会） 令和7年8月22日（金） 石川県内8分科会

2日目（全体会） 令和7年8月23日（土） 石川県立音楽堂 コンサートホール サテライト会場7会場

第70回日本PTA九州ブロック研究大会



福岡市大会

1日目（分科会） 令和7年10月18日（土） 福岡市内4会場

2日目（全体会） 令和7年10月19日（日） マリンメッセ福岡A館

information

日本PTA全国協議会 定時総会

令和7年6月20日（金）

《協議内容》

- ・ 令和6年度事業報告
- ・ 令和6年度収支決算
- ・ 令和7年度理事及び監事の選任
- ・ 感謝状贈呈

九州ブロックPTA協議会 定期総会

令和7年6月13日（金）

《協議内容》

- ・ 令和6年度事業・決算・監査報告
- ・ 第69回九州ブロックPTA研究大会 長崎大会決算報告
- ・ 令和7年度役員の選出
- ・ 令和7年度努力目標・事業計画・予算

宮崎県PTA連合会 定期総会

令和7年5月31日（土）

《協議内容》

- ・ 令和6年度事業報告
- ・ 令和6年度収支決算・監査報告
- ・ 令和7年度役員改選
- ・ 令和7年度基本方針・事業計画
- ・ 令和7年度収支予算

みんなが居心地のよい楽しい学校創り

【宮崎市立生目中学校】（鎌田 剛史校長 生徒数531名）

生目中学校は宮崎市の西部に位置し、生目地区内には「生目神社」「生目古墳群（国の史跡）」や校内には「青雲台」と呼ばれる忠霊塔があり、歴史的な史跡が多い場所です。また、校区内には「生目の杜運動公園」があり、ソフトバンクホークスなどのプロスポーツが様々に利用し、スポーツイベントが盛んな地域でもあります。

今年度は531名の生徒が「みんなが居心地のよい楽しい学校創り」を目指しながら元気に活動しています。

「PTAと地域と生徒が願いを込めて

「合格祈願 門松づくり・餅つき」

12月、PTA役員・元PTA役員・地域の方々・生徒で3年生の高校合格を祈願して「門松づくり・餅つき」を行いました。門松づくりでは、地域の業者の方にもご協力をいただき、中学生も一緒に工具を使って、本格的な一對の門松を作りました。餅つきは、中学生が大人の方からつき方や丸め方



門松づくり

を教えてもらいながら、全員で片付けまきまりました。翌日、餅つきをした後輩たちから3年生へ「合格祈願餅」を渡しました。



餅つき



餅まるめ

「地域と中学生が共に行う

「防災教育 図上訓練」

9月、総合的な学習の時間に「防災教育 図上訓練（1年）」を行いました。学校運営協議会、地域の防災担当、地域交流センター、見守り隊の方々と生徒がグループを作り、地域の防災について話し合いを行いました。中学生が自らの目線で地域の危険箇所について伝え、避難の仕方やどうやって対応するのかを話し合い、発表しました。



防災教育 図上訓練

「地域と学校とPTAが連携した

「生徒の地域ボランティア」

生徒が地域でボランティア活動を行う流れについては次の通りです。

① 地域担当者からボランティアの依頼が学校に届く

② 学校担当者からPTAボランティア委員に内容を伝え、参加確認用二次元コードを作成する

③ 学校担当者から生徒へボランティアを告知し、希望者へ二次元コードを渡す。生徒は各自で申し込む

④ 生徒が地域のボランティアに参加する。PTAボランティア委員は参加しながら見守りを行う

⑤ ボランティア後、報告の連絡とボランティア証明書が送付されてくる

昨年度参加したボランティアは「畑の草むしり」「作物の収穫」「防災イベントの前日準備と運営」「地域のお祭りの運営」「地域の方へのスマホ教室」でした。

今年度も、PTA・地域・学校・生徒が一丸となって「みんなが居心地のよい楽しい生目地区創り」を目指します。

【教頭 須見 かおる】

編集後記

今年、久しぶりにイチゴを育ててみました。ようやく実ったのは2センチほどの小さなイチゴ。食物を育てることの難しさを実感します。いつも当たり前のように食べていますが、生産者のみなさんに感謝の気持ちを忘れずに生活したいとあらためて思いました。

田中

家族で阿蘇山に行ってきました。その日はガスのため規制がかかり火口まで行けませんでした。が、天気は良く阿蘇カルデラの雄大な景色を見ることができました。テレビなどで見てきた景色よりも圧巻で、阿蘇が大好きになりました。次こそは火口まで行ってみたいです。

西尾

「お薦めの本と好きな数字は？」と訊かれたら、今の私はこう返します。「PTAハンドブックと10・10が条ですよ。中でも、夢や未来を家族で語り合う第8条が気に入っています。」それなら、好きな数字は8では？」そんな声も聞こえてきそうです。一年間よろしくお願ひします。

佐藤

最近の若者にとっては、距離のある敬語ではなく親しみを込めた「タメ語」が敬意の表れなんだそうです。敬語が使えないのかと思っていたけれど真実は違うようです。目から鱗でした。ですがやはり昭和人としては看過することもできず、隣と昭和の間で板挟みです。

西村

令和7年度 編集委員



編集長

西村 明子（宮崎西中）
田中 泰子（大塚中）
佐藤 健一（附属小）
西尾 真裕子（大宮中）